表面処理技術から未来を創造する

第62期・2022年3月期

決算説明資料

株式会社JCU

東証プライム　4975

2022年5月11日(水)

ロシア・ウクライナ情勢等による当社グループ業績への影響

1.　ロシア産原料価格の高騰

当社ではロシア産の原料を使用しておらず、現時点では直接的な影響は受けない見通しであります。

2.　原油価格の上昇等による物流費用の高騰

当社製品の大部分は海外グループ会社の生産拠点で生産しております。国内から海外へ輸出する製品の割合が少ないため、影響は軽微であります。

3.　円安の進行

当社海外グループ会社における事業の大部分は、現地通貨建てによる取引となっております。連結決算時に日本円換算数値を業績数値として公表しているため、円安は収益増加の要因となります。

2022年3月期　業績概況

当社決算の概況

＜会計期間＞
JCU(単体)　→　4月 - 3月
海外子会社　→　1月 - 12月

《電子部品分野向け》

■中国は、タブレットなどの高機能電子デバイス、サーバー向けプリント基板の需要が増加
新規に獲得したラインでの稼働が本格化したことで、薬品需要は大幅に増加

■台湾は、高機能電子デバイス、サーバー向け半導体パッケージ基板の需要が増加
新規ラインの獲得により、薬品需要は増加

■韓国は、半導体需要が旺盛なことを受け、半導体パッケージ基板の需要が増加
新規ラインの獲得により、薬品需要は増加

《自動車分野向け》

■国内は、半導体などの不足により、自動車産業の回復基調は鈍化傾向にあるものの、上半期までは好調に推移したことで、薬品需要は増加

■海外は、中国において半導体などの不足が自動車の生産稼働に影響があったものの、自動車産業の回復基調が継続し、薬品需要は大幅に増加

《装置事業》

■自動車部品用めっき装置は、履行義務の充足に係る進捗が遅れたことで売上高は大幅に減少
しかし先送り案件の再開、および電子分野めっき装置の新規投資需要の増加により、受注残高は大幅に増加

2022年3月期　業績概況

【連結】

(単位：百万円)

決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		
	実績	実績	予想 (2021年11月 修正)	実績	対前期 増減率
売　上　高	22,319	21,192	23,500	24,256	14.5%
営 業 利 益	6,297	6,799	8,300	8,990	32.2%
経 常 利 益	6,240	6,922	8,350	9,231	33.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,416	4,708	5,900	6,370	35.3%
１株当たり当期純利益	163円97銭	178円33銭	225円19銭	243円82銭	–

貸借対照表　要約

※一部の勘定科目について省略しております。

（百万円）	2021年3月期	2022年3月期
流動資産	26,724	32,507
現金及び預金	16,674	19,519
受取手形及び売掛金	7,195	8,501
たな卸資産	2,502	3,632
固定資産	8,499	8,385
有形固定資産	5,312	5,459
投資その他の資産	3,124	2,870
資産合計	35,224	40,892
流動負債	6,050	6,712
支払手形及び買掛金(電子記録債務含む)	2,237	2,736
短期借入金(一年内長期含む)	634	705
固定負債	1,470	1,013
長期借入金	613	540
負債合計	7,520	7,726
純資産合計	27,703	33,166
負債・純資産合計	35,224	40,892

為替レート

(単位：円)

	2021年3月期	2022年3月期				2023年3月期(予想)
		(期首予想)	1Q	2Q	3Q	4Q	
中国人民元（ＣＮＹ）	15.48	15.50	16.36	16.66	16.78	17.03	17.20
台湾ドル（ＴＷＤ）	3.63	3.60	3.77	3.84	3.88	3.93	4.00
韓国ウォン（ＫＲＷ）	0.0906	0.0900	0.0951	0.0964	0.0959	0.0960	0.0940

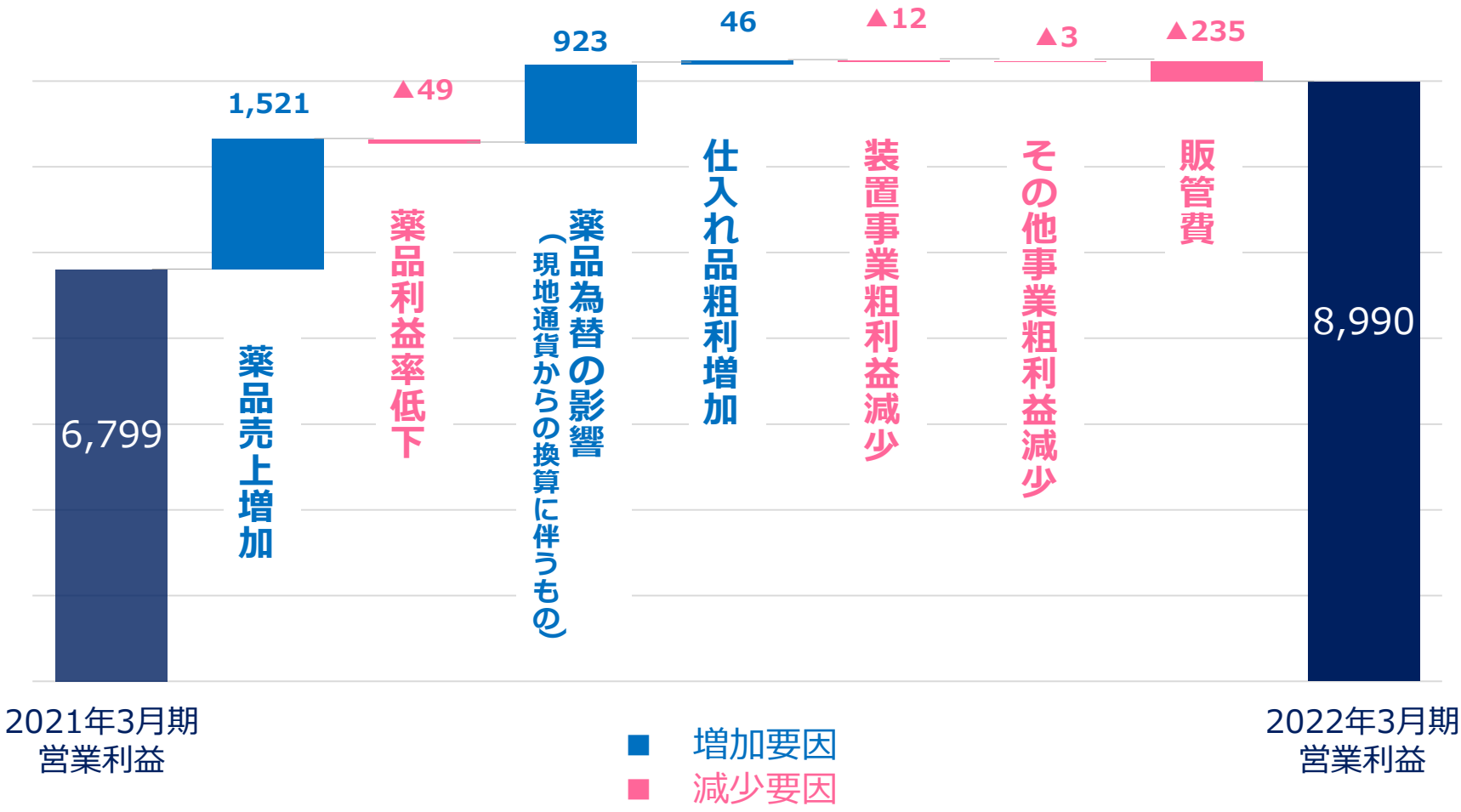
(注) 当社の主要な外国通貨は、中国人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、
いずれも、期中平均レートを採用しております。

為替感応度（連結年換算）：上記主要通貨1%の変動で、連結営業利益0.9億円程度

2022年3月期　連結営業利益　増減実績

(単位：百万円)

(前年同期比)
2,191百万円増



2023年3月期　業績予想

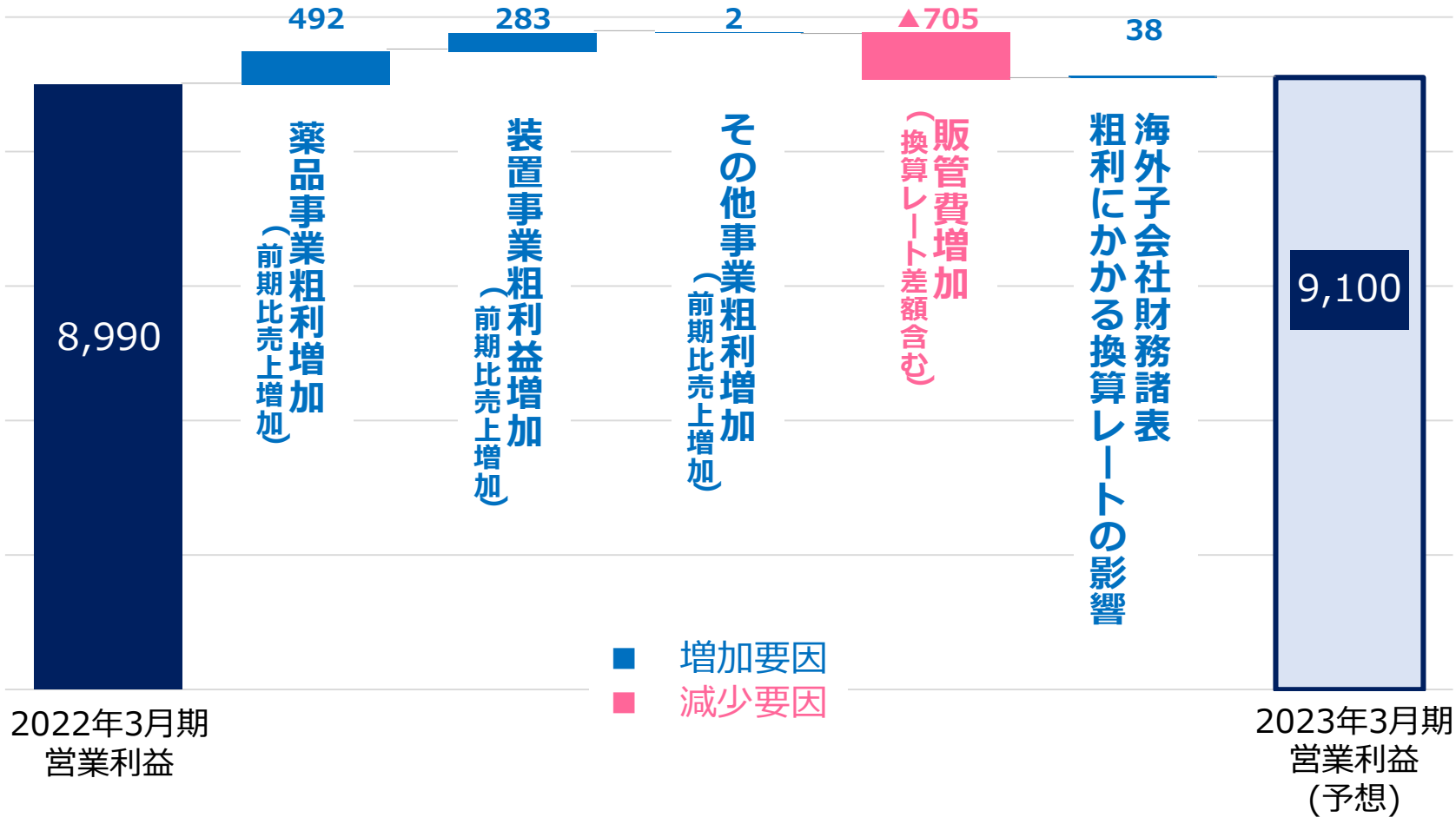
（単位：百万円）

決算期	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前期に 対する増減率
売上高	24,256	26,500	9.3 %
営業利益	8,990	9,100	1.2 %
経常利益	9,231	9,100	▲1.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,370	6,300	▲1.1 %
１株当たり 当期純利益	243円82銭	242円93銭	―

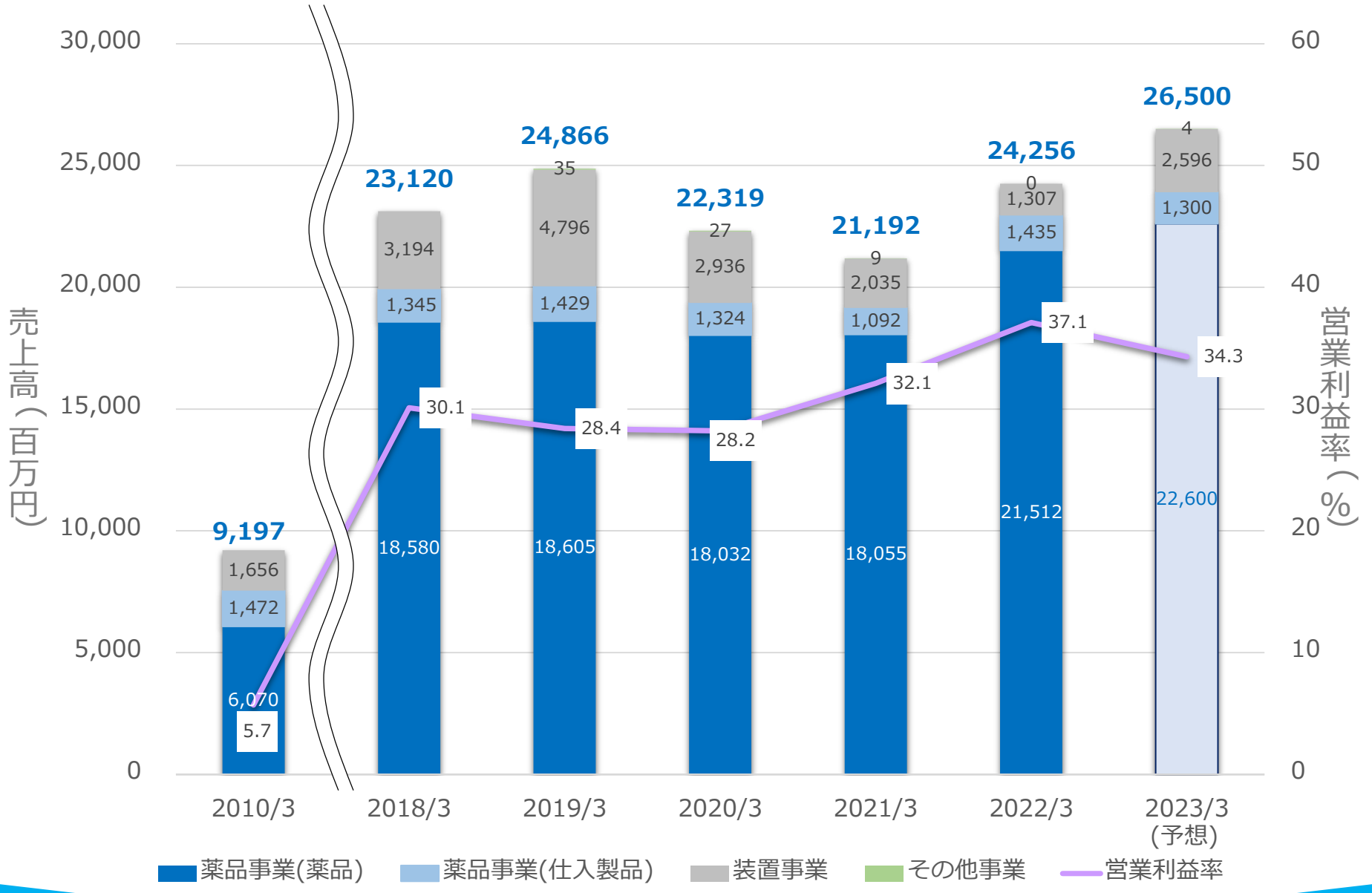
2023年3月期　連結営業利益　増減予想

(単位：百万円)

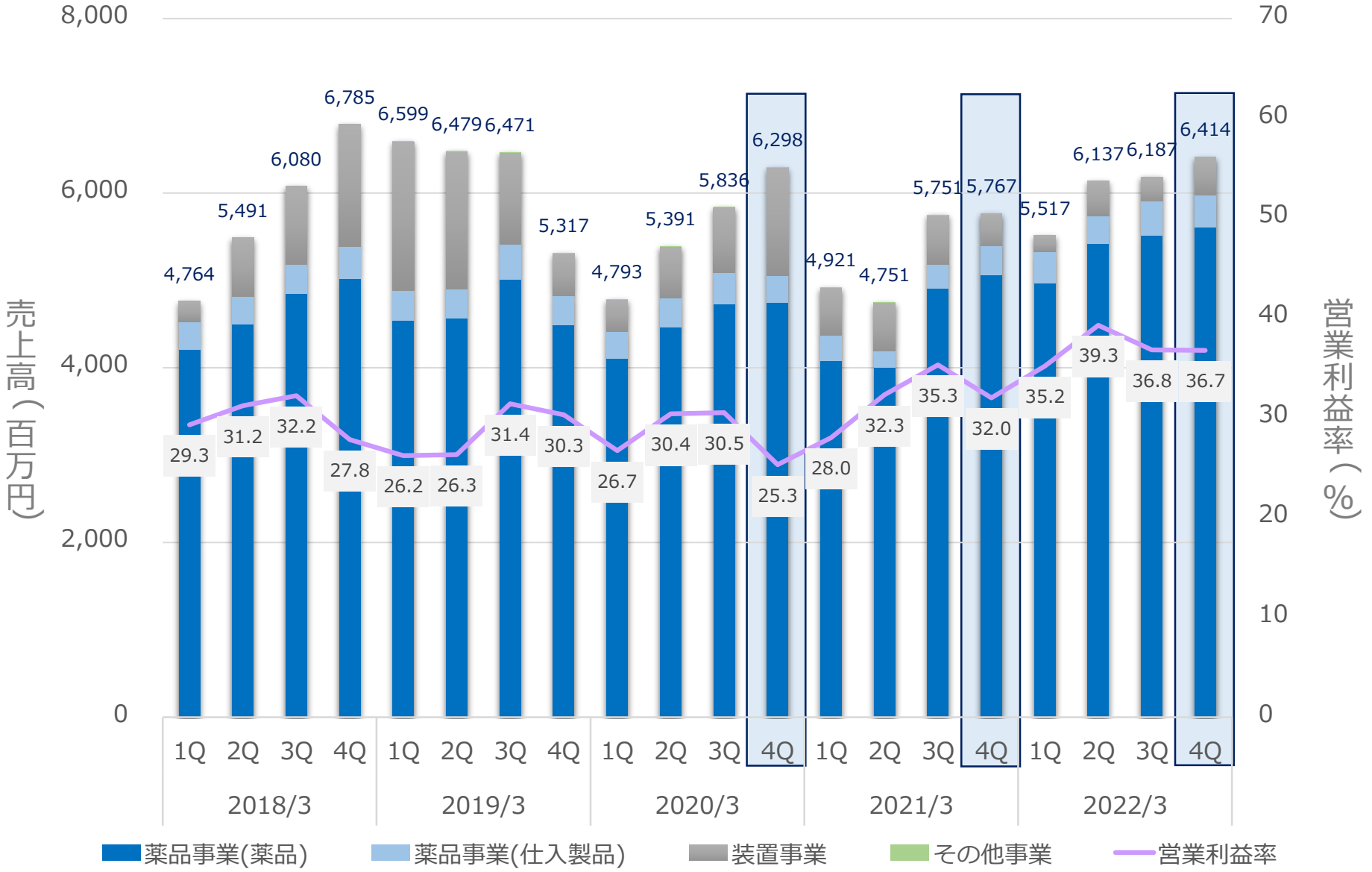
(前年同期比)
110百万円増



年度別　連結業績の推移(セグメント別)

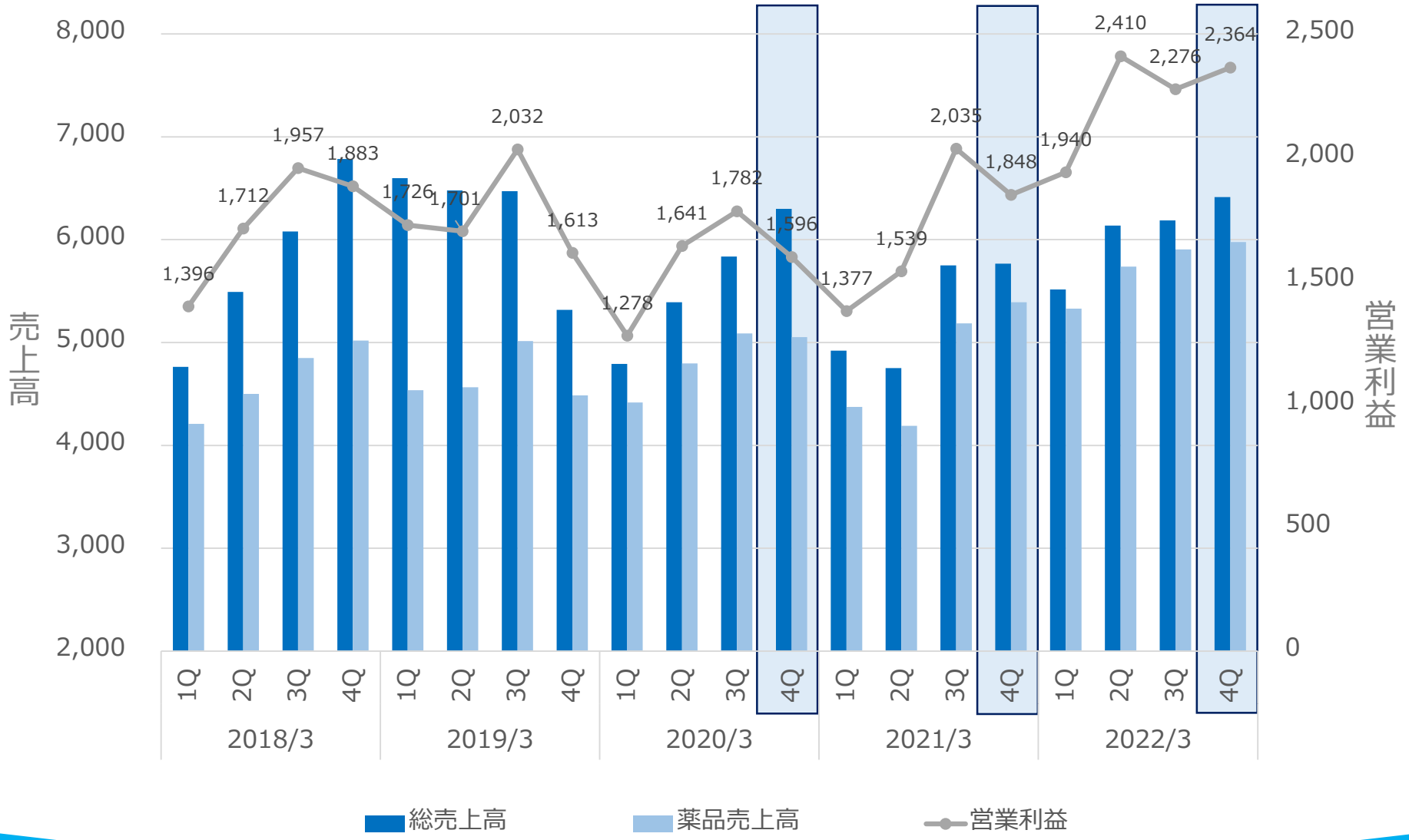


四半期別　セグメント別連結業績の推移



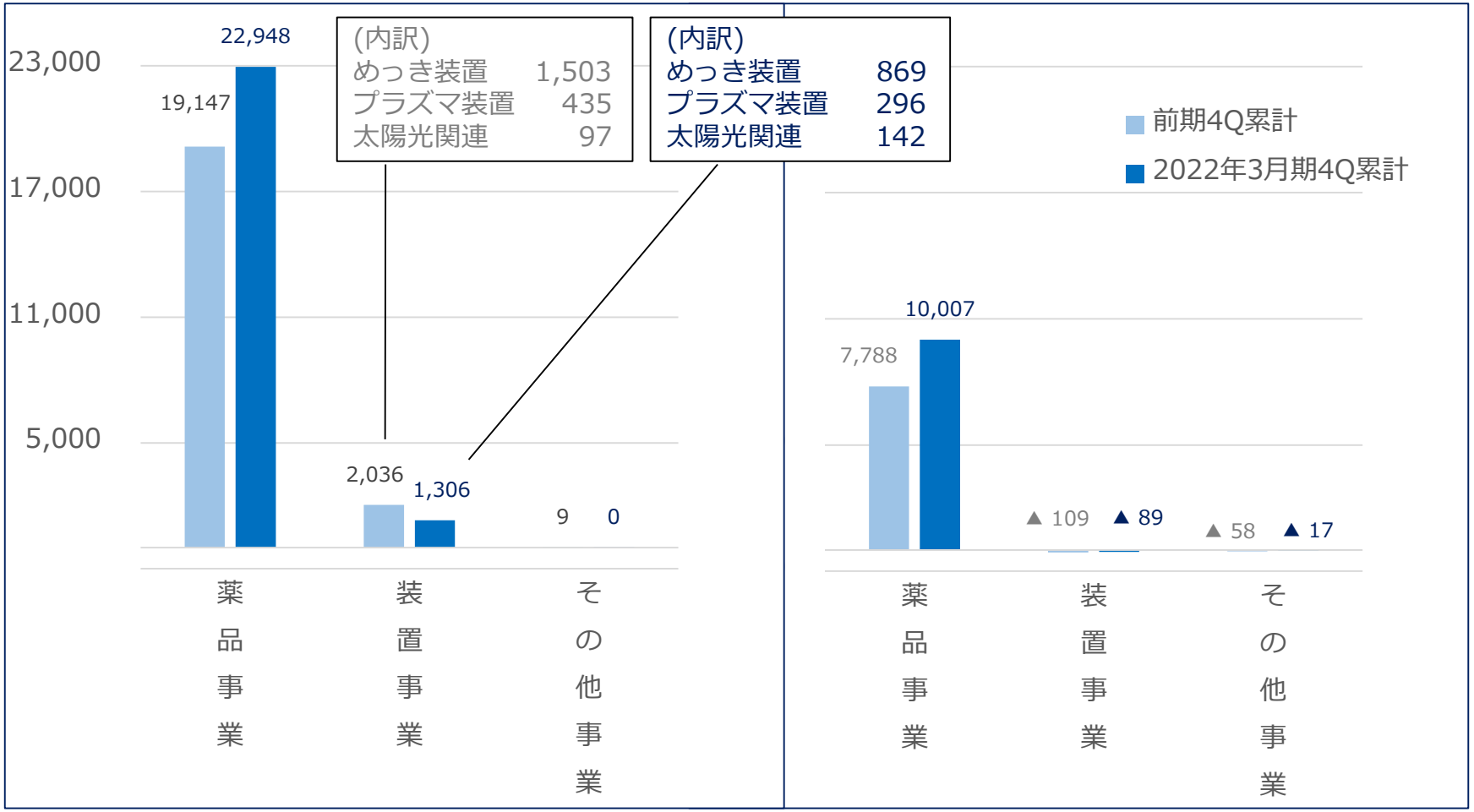
四半期別　連結業績の推移

(単位：百万円)



2022年3月期　連結セグメント業績

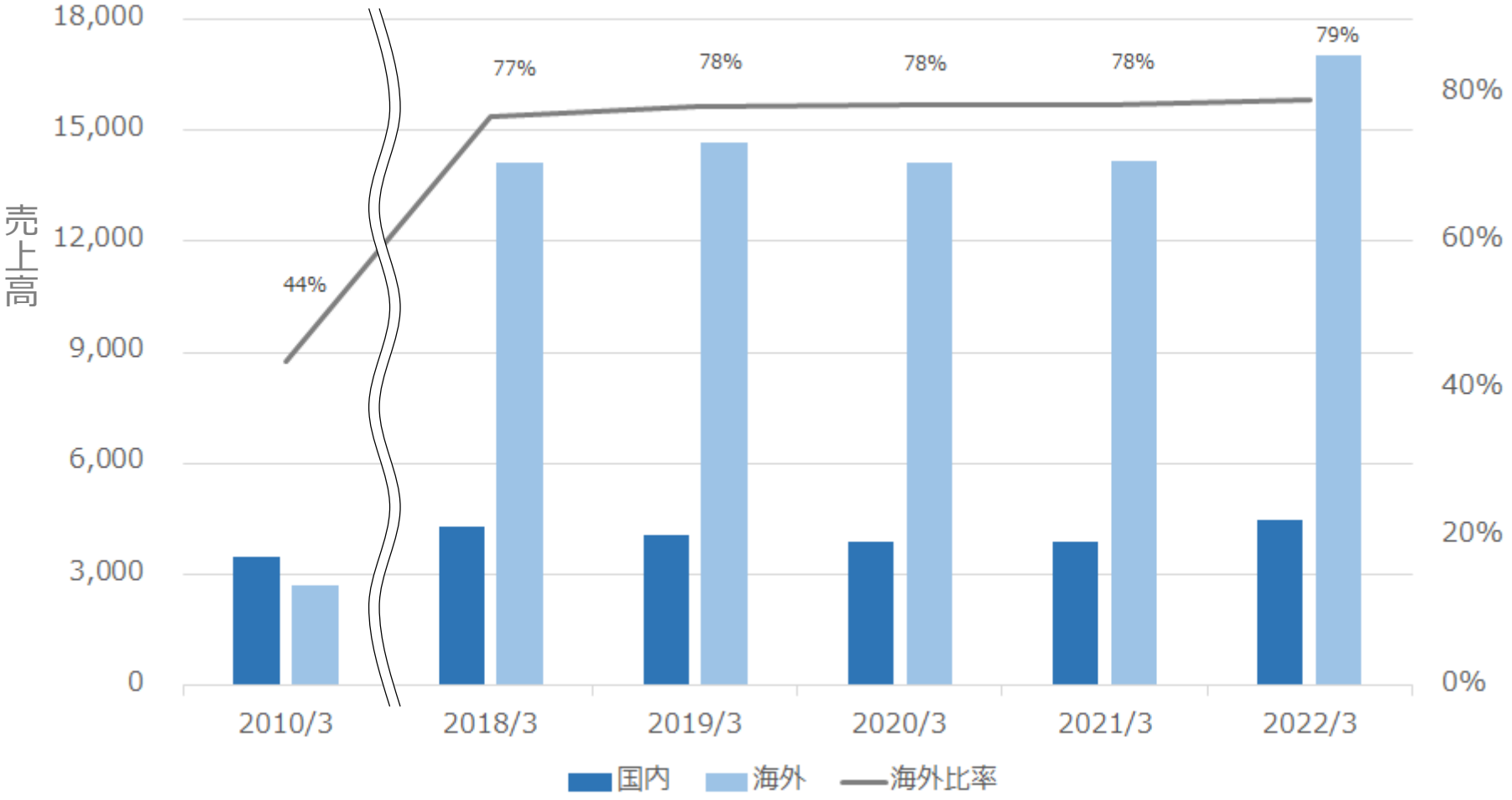
(単位：百万円)



売上高　　セグメント利益 (損失)

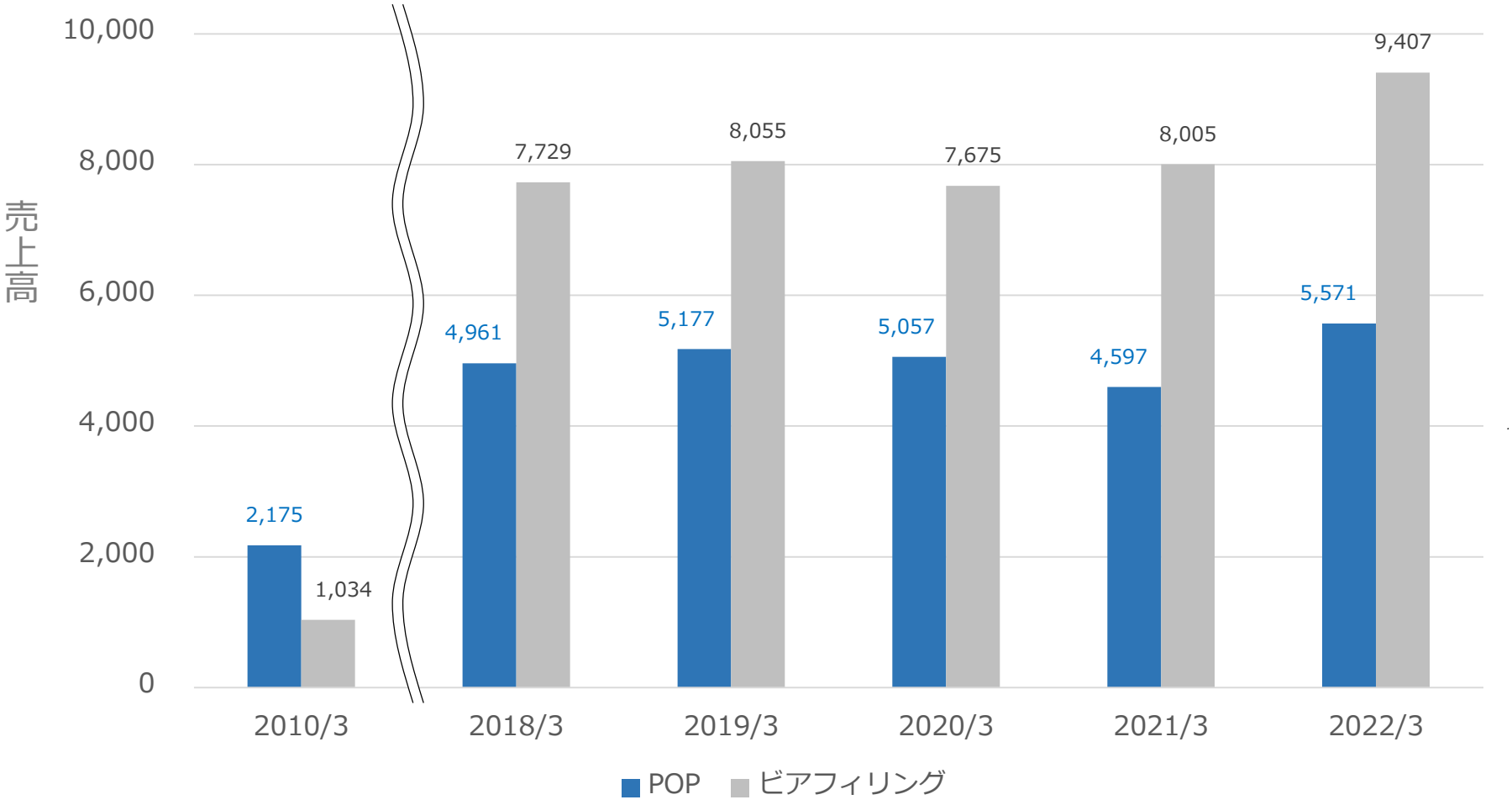
国内外薬品売上高推移

(単位：百万円)



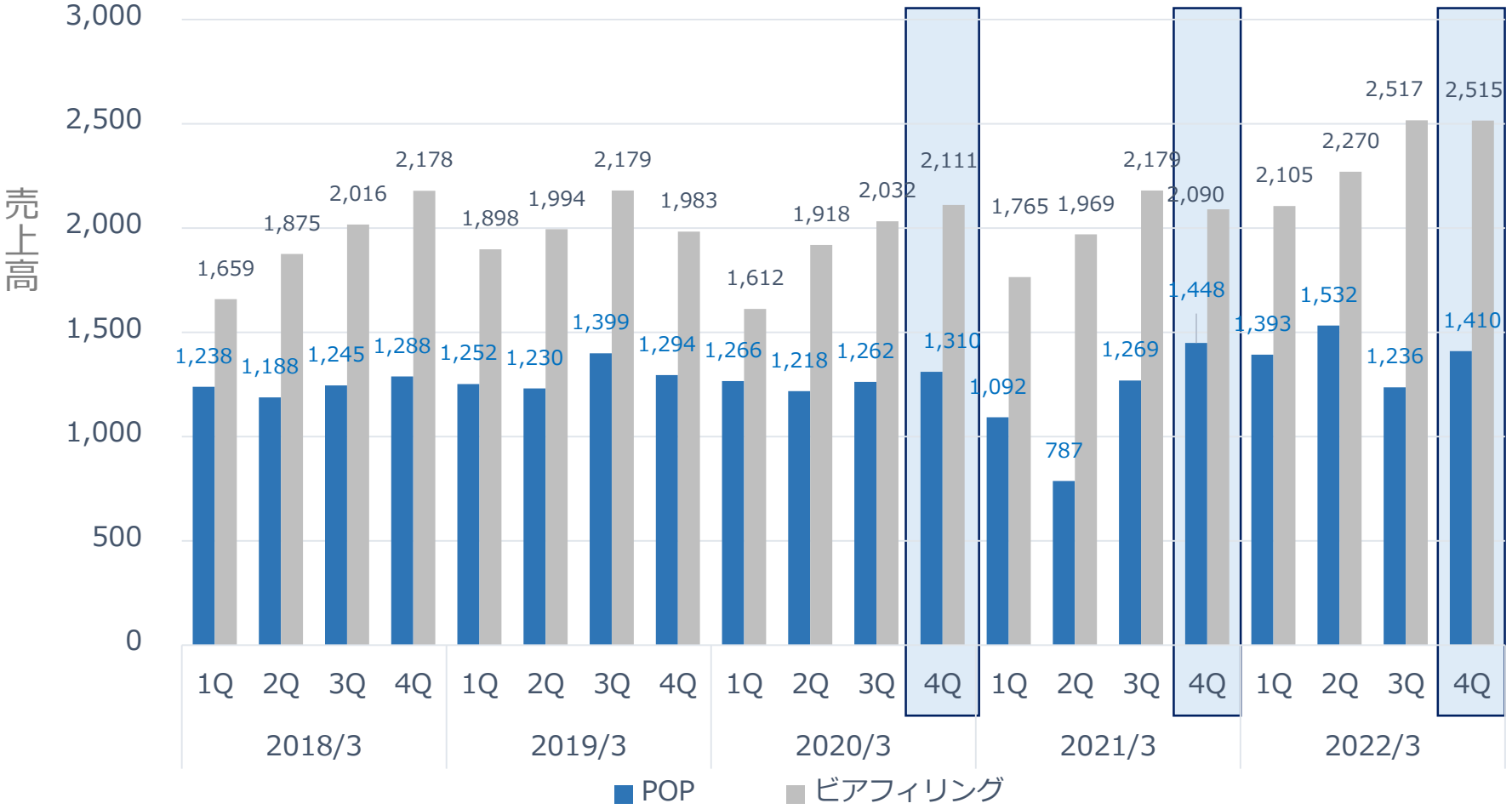
年度別　POP,ビアフィリング用薬品の売上高推移

(単位：百万円)



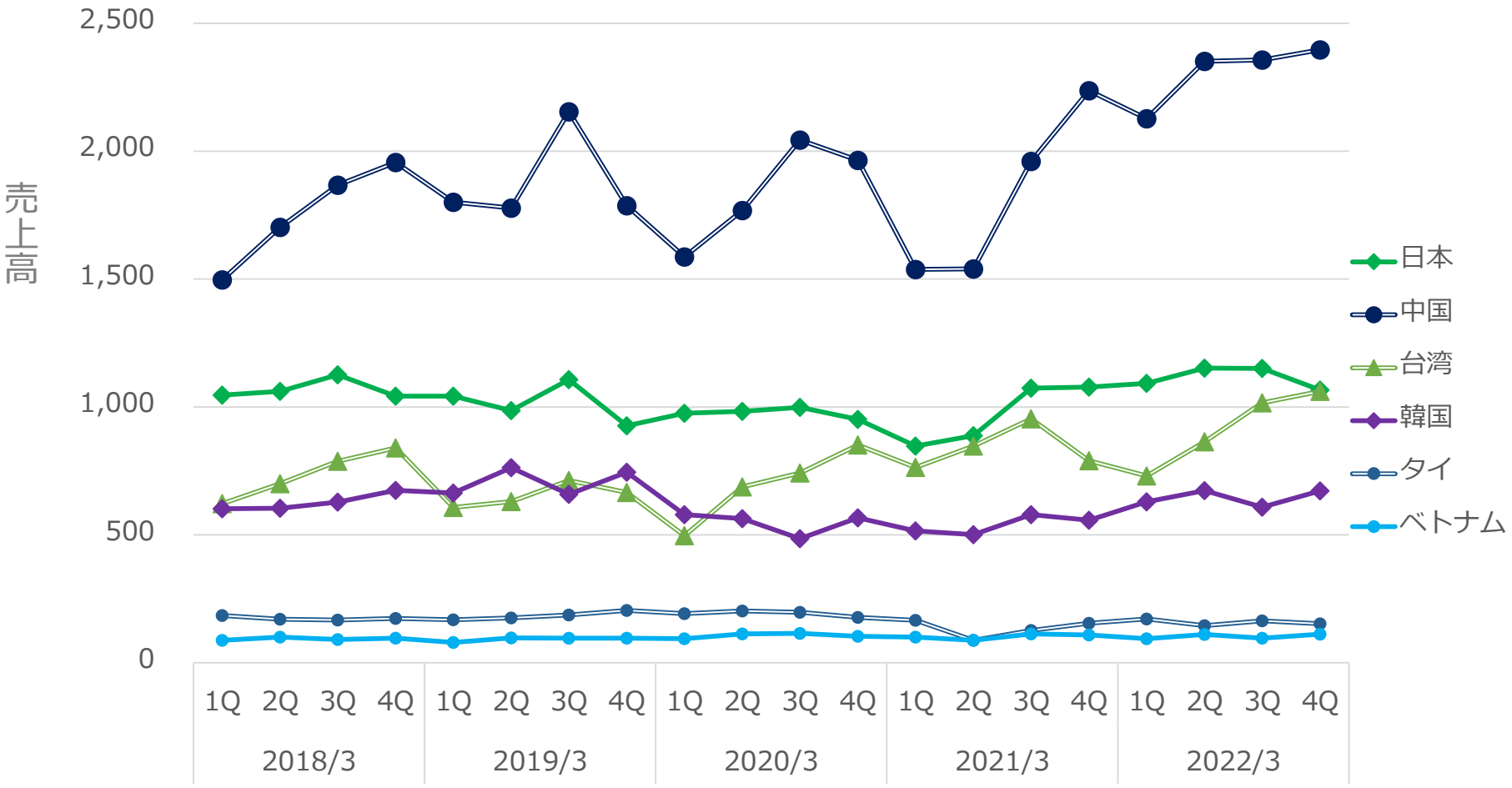
四半期別　POP,ビアフィリング用薬品の売上高推移

(単位：百万円)



四半期別　地域別薬品売上高の推移

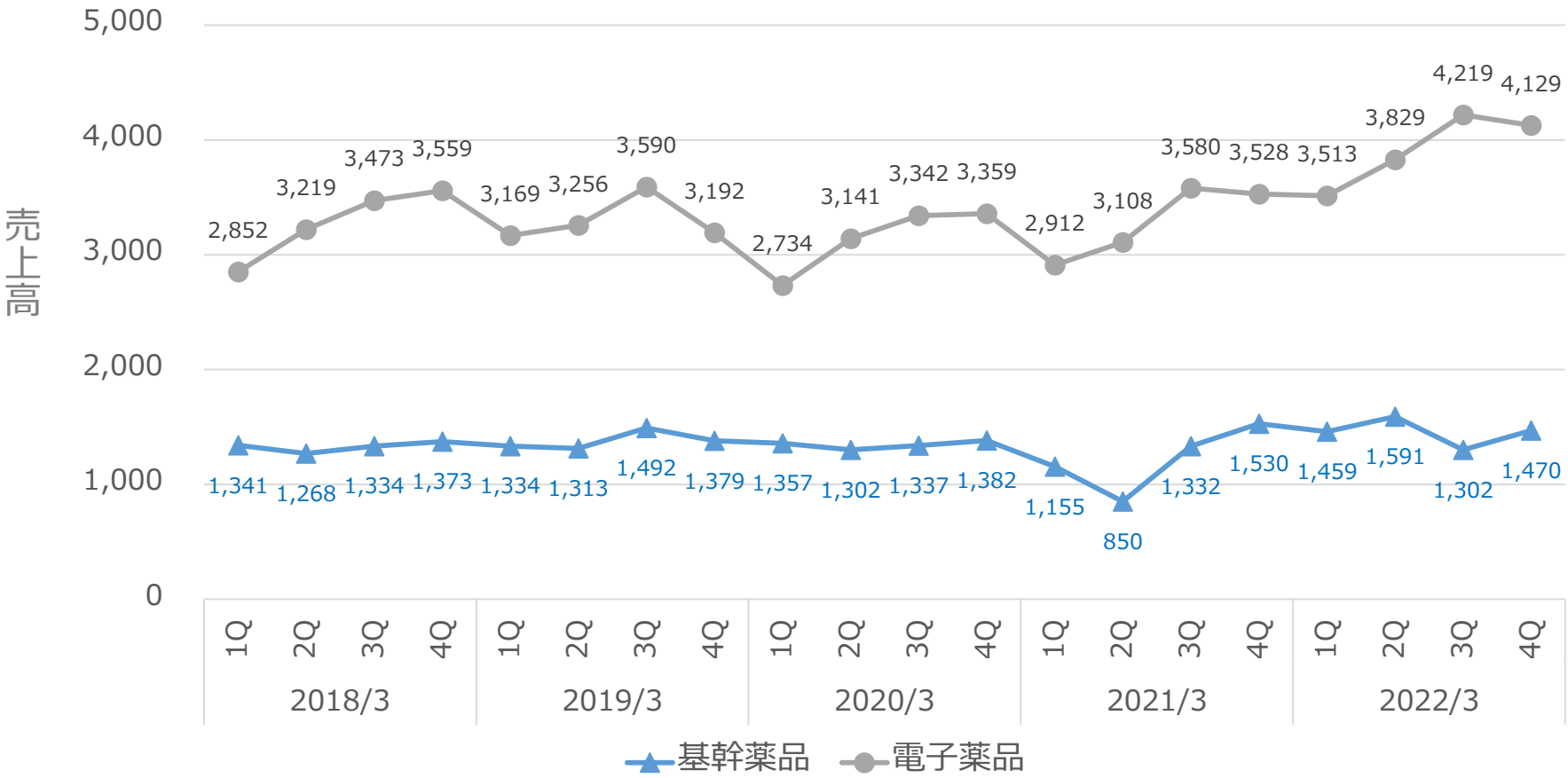
(単位：百万円)



四半期別　分野別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

連 結



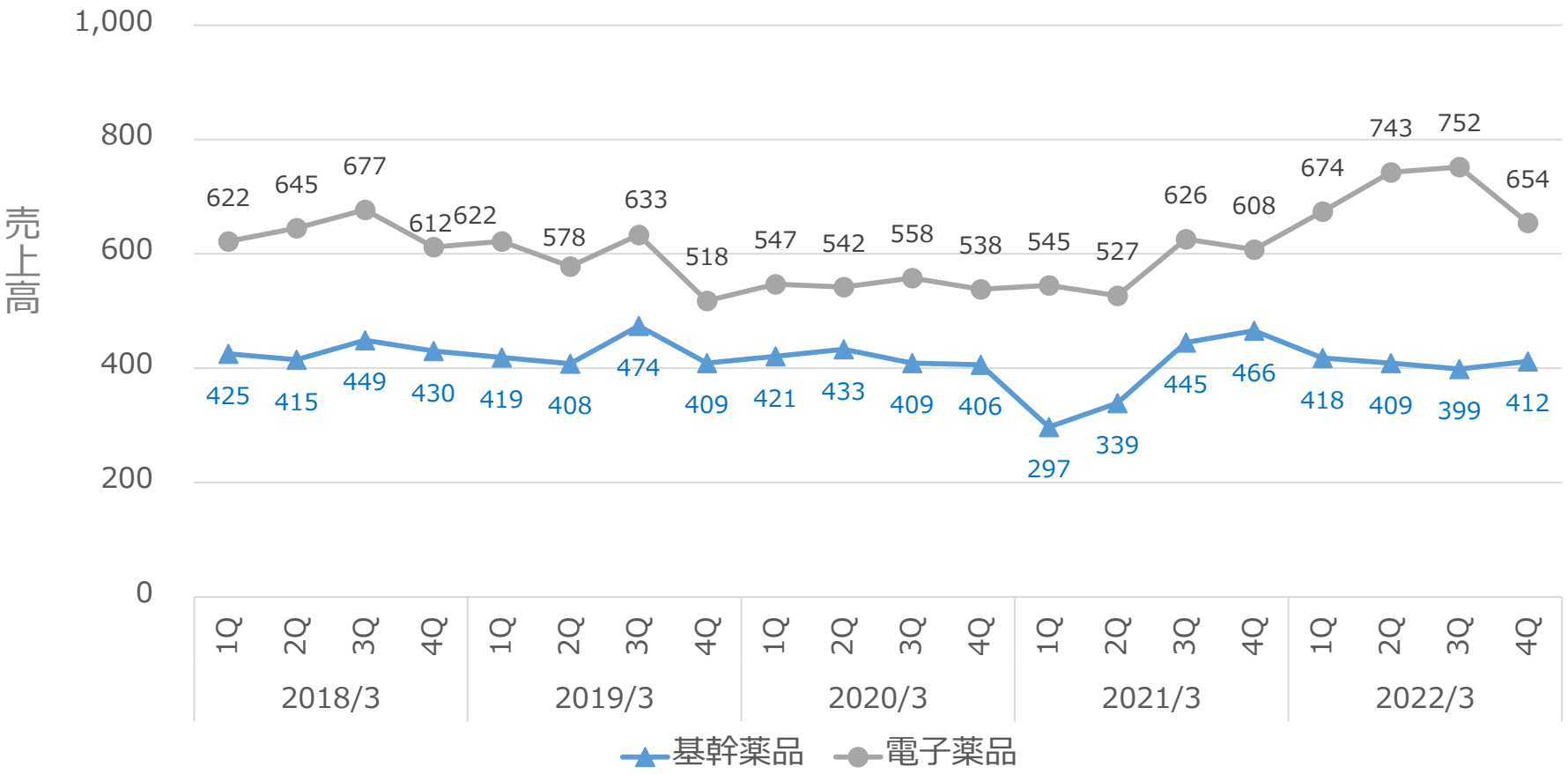
電子薬品
QoQ 2%減　YoY 17%増　累計前期比 20%増

基幹薬品
QoQ 13%増　YoY 4%減　累計前期比 20%増

四半期別　地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

国 内



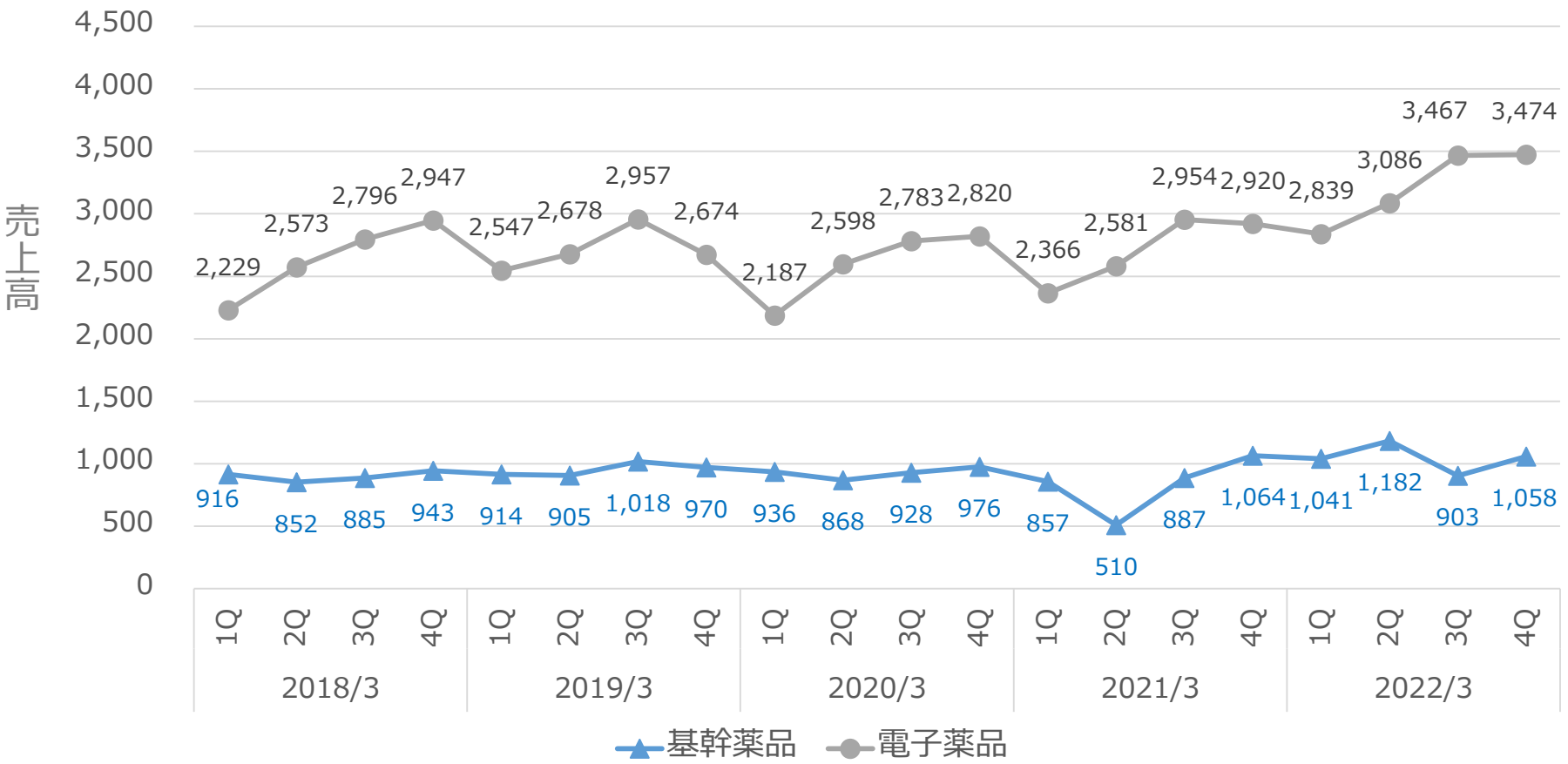
電子薬品
QoQ 13%減　YoY 8%増　累計前期比 22%増

基幹薬品
QoQ 3%増　YoY 12%減　累計前期比 6%増

四半期別　地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

海 外



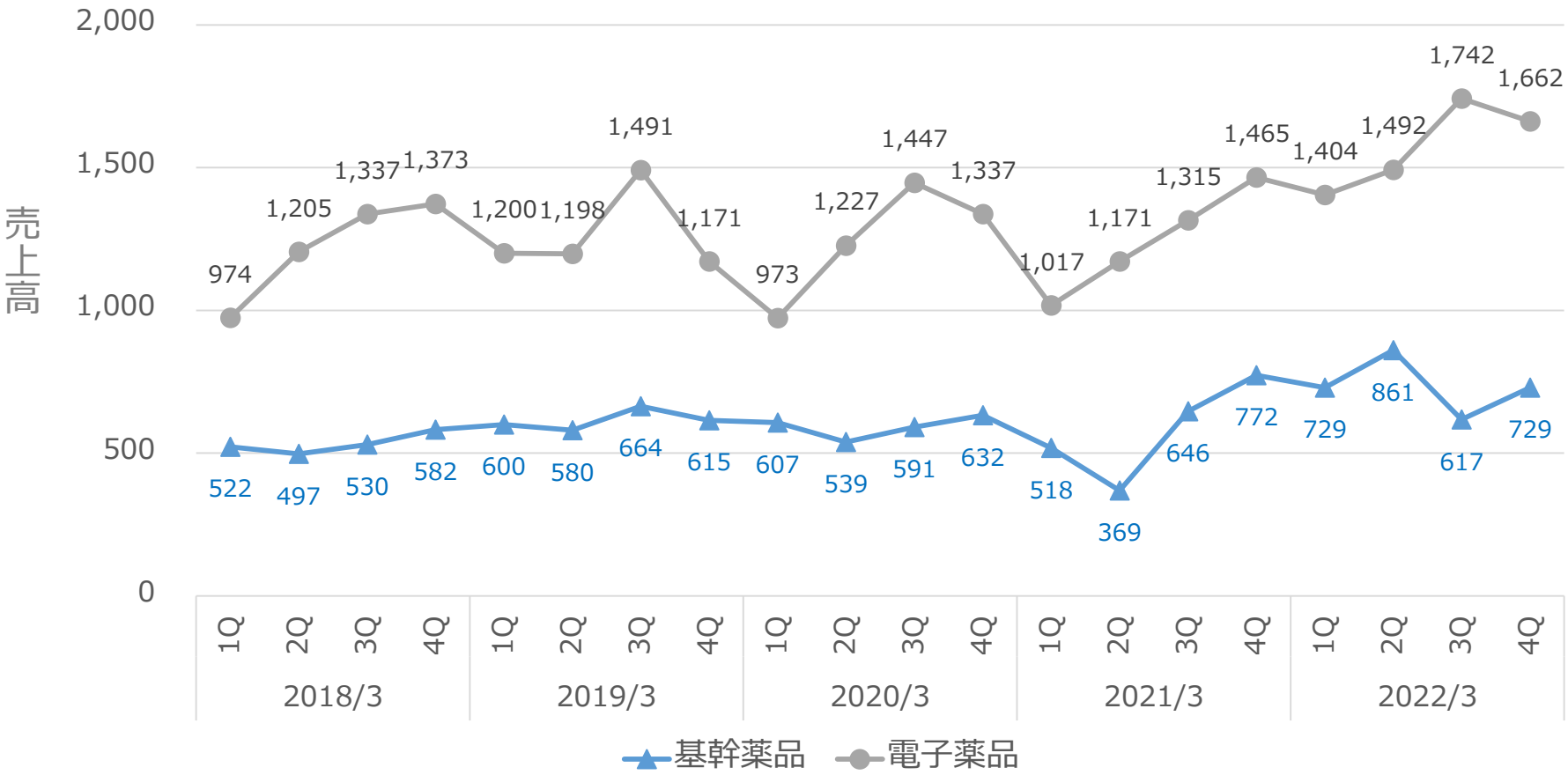
電子薬品
QoQ ±0%　YoY 19%増　累計前期比 19%増

基幹薬品
QoQ 17%増　YoY ±0%　累計前期比 26%増

四半期別　地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

中 国



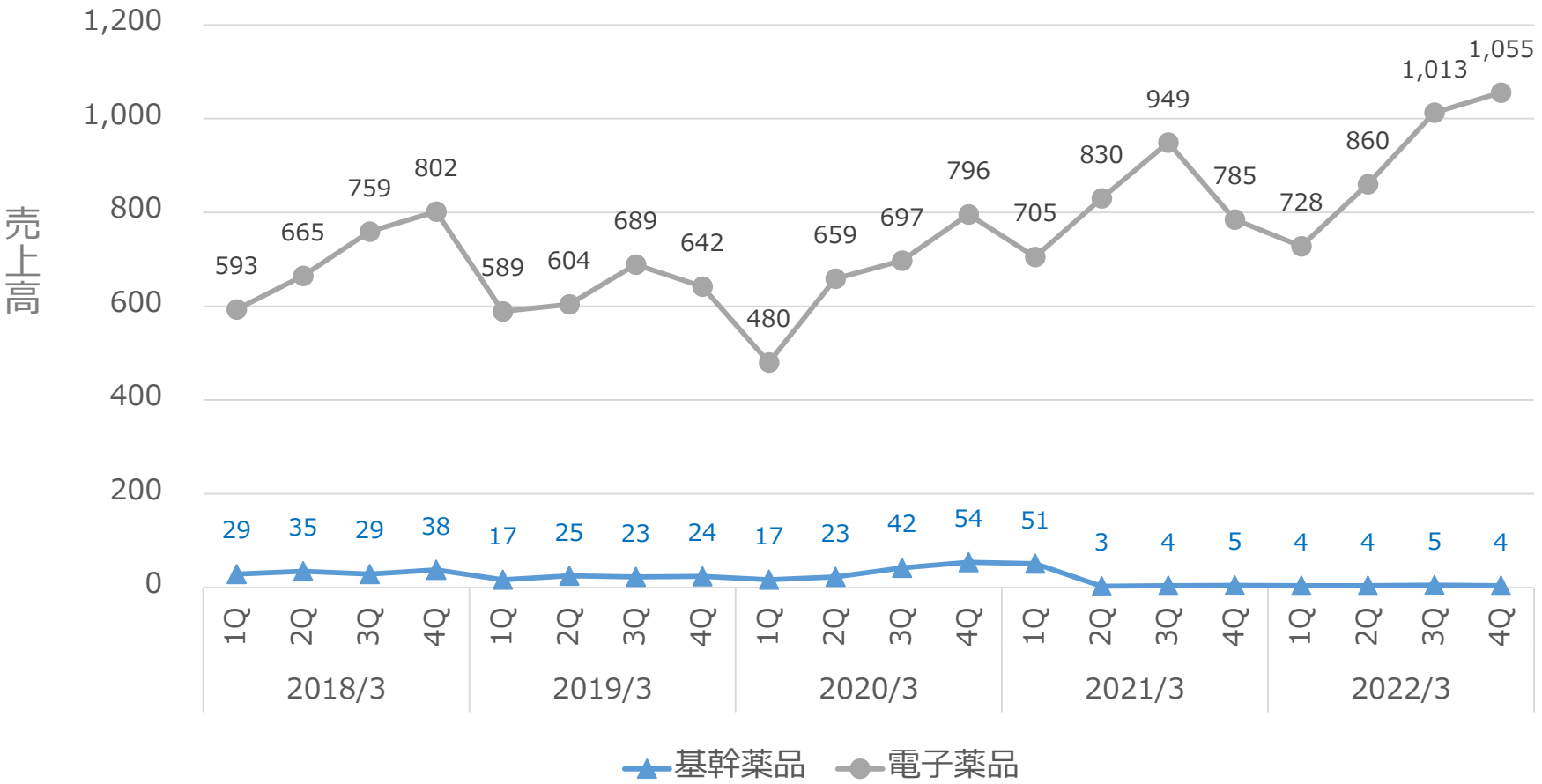
電子薬品
QoQ 5%減　YoY 13%増　累計前期比 27%増

基幹薬品
QoQ 18%増　YoY 6%減　累計前期比 27%増

四半期別　地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

台 湾



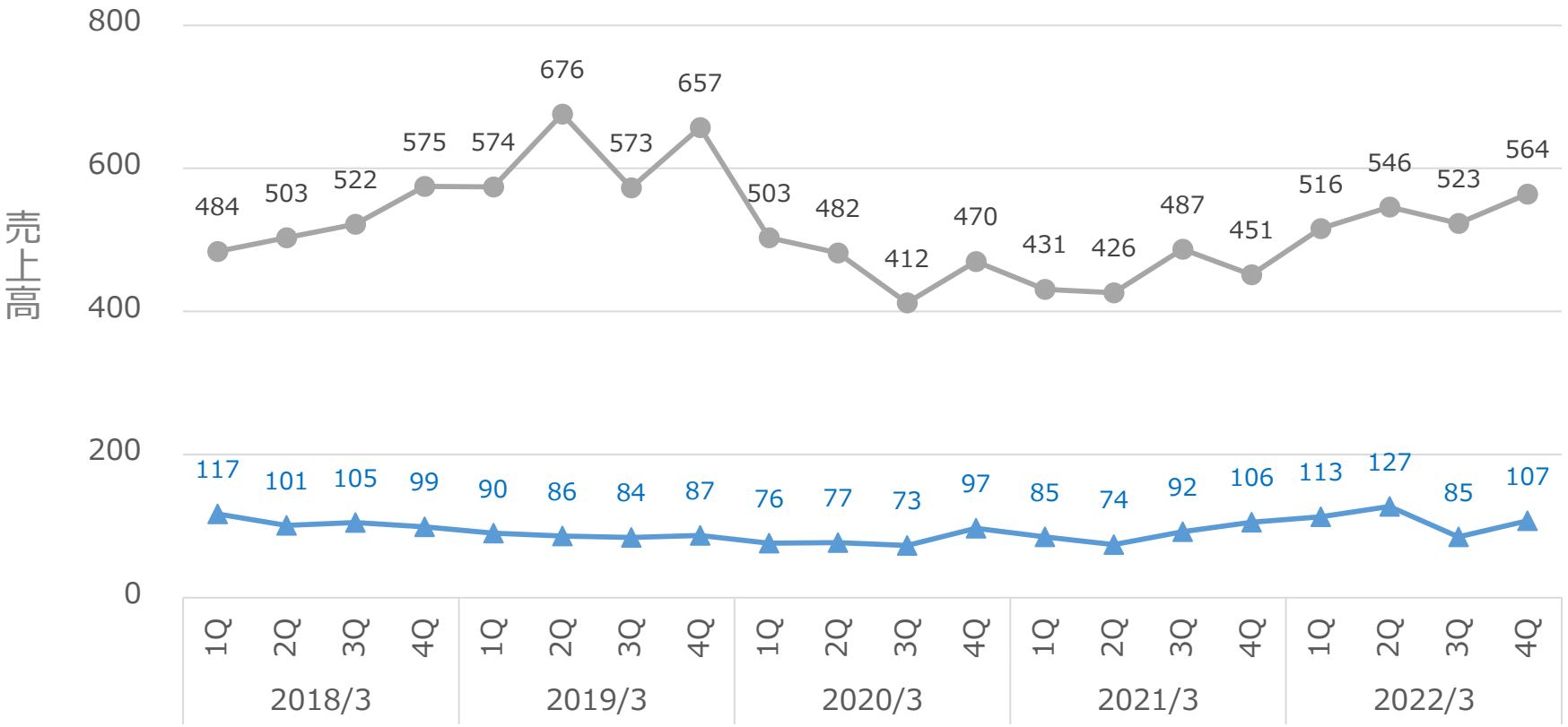
電子薬品
QoQ 4%増　YoY 35%増　累計前期比 12%増

基幹薬品
QoQ 17%減　YoY 11%減　累計前期比 72%減

四半期別　地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

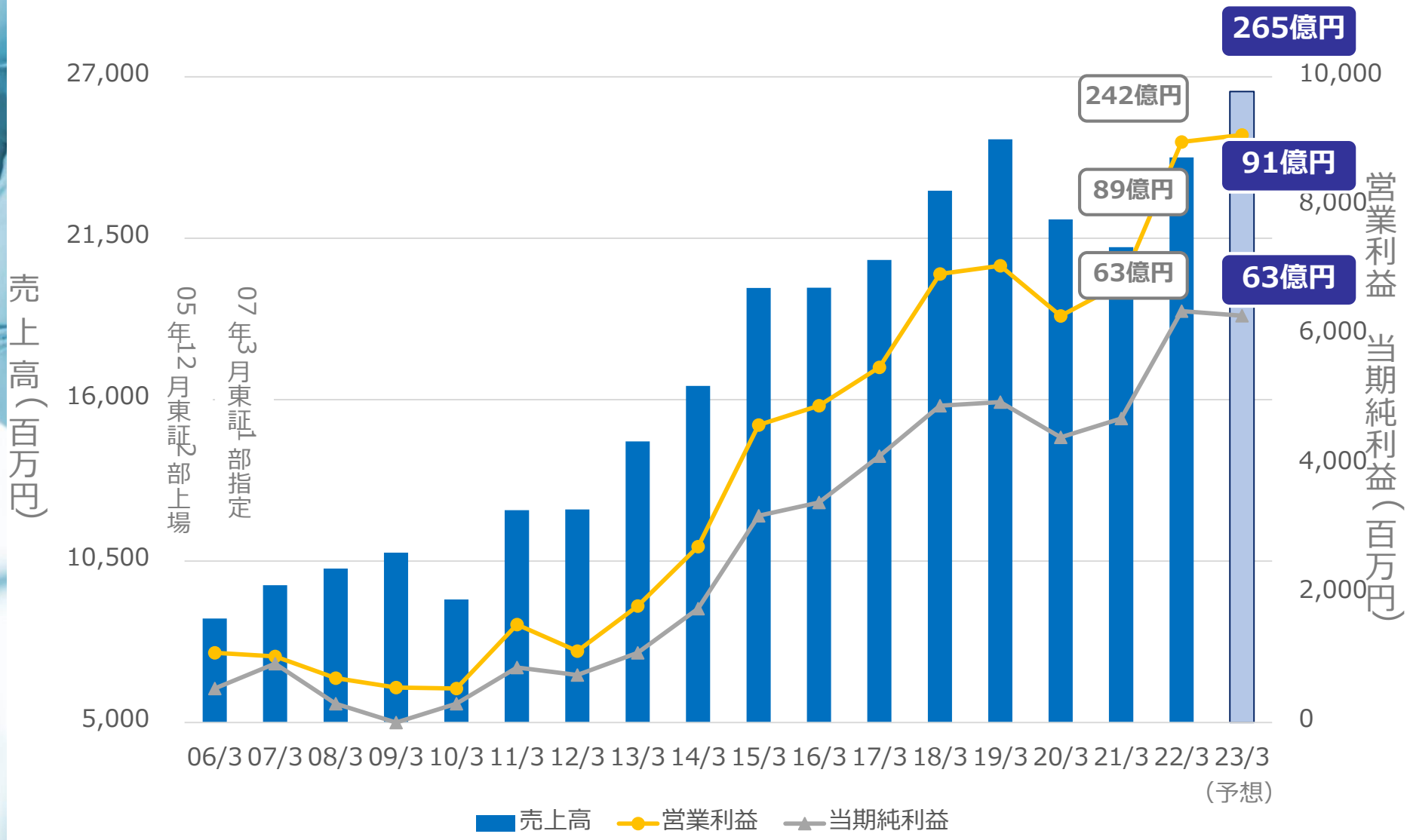
韓 国



電子薬品
QoQ 8%増　YoY 25%増　累計前期比 20%増

基幹薬品
QoQ 27%増　YoY 2%増　累計前期比 21%増

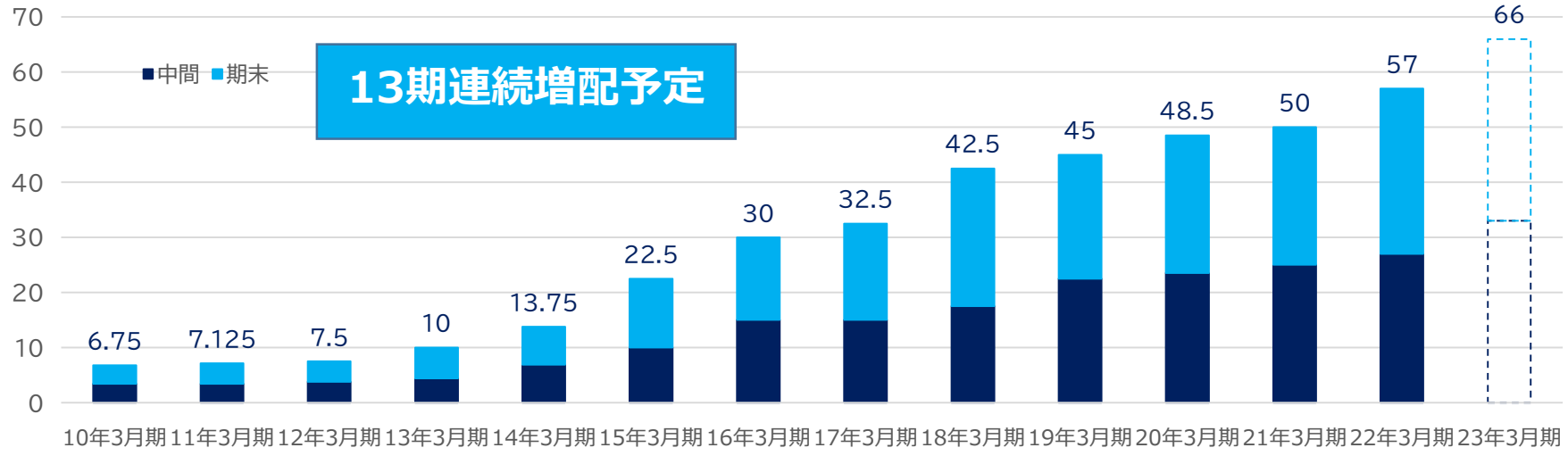
上場からの業績推移


265億円
242億円
91億円
89億円
63億円
63億円
27,000
21,500
16,000
10,500
5,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
売上高（百万円）
営業利益
当期純利益（百万円）
05年12月東証2部上場
07年3月東証1部指定
06/3 07/3 08/3 09/3 10/3 11/3 12/3 13/3 14/3 15/3 16/3 17/3 18/3 19/3 20/3 21/3 22/3 23/3
（予想）
売上高
営業利益
当期純利益

2023年3月期　配当予想

		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期(予想)
1株当たり配当金	中間	25.0円	27.0円	33.0円
	期末	25.0円	30.0円	33.0円
	年間	50.0円	57.0円	66.0円

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、機動的な自己株式の取得による株主還元の実施を基本方針としております。



参考資料

- 会社概要
- 主な商流
- 主な製品
- 薬品用途説明 最終製品例

会 社 概 要

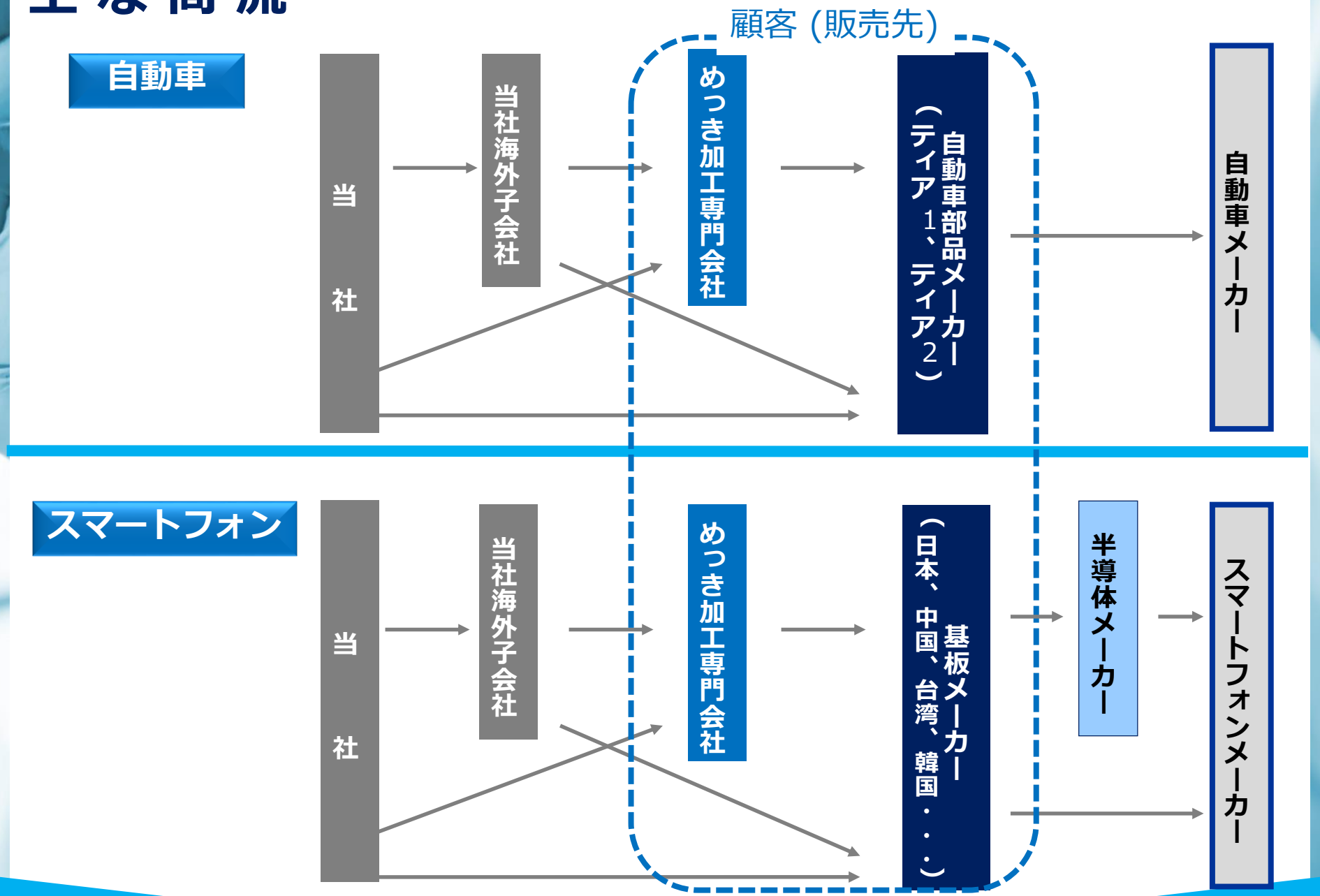
創　　業	：	1957年 12月
設　　立	：	1968年 4月 1日
資 本 金	：	12億4,504万円
年　　商	：	単体 127億円　　連結 242億円　　（2022年3月期末）
本社所在地	：	東京都台東区東上野 4-8-1　TIXTOWER UENO 16階
業務内容	：	表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売
代表者	：	代表取締役社長兼CEO　木村 昌志
従業員数	：	単体 242名　　連結 548名　　（2022年3月期末）

ISO認証取得

ISO9001　生産本部・本社営業部・総合研究所　JCQA-0281

ISO14001　生産本部・総合研究所　JCQA-E-0143

主な商流

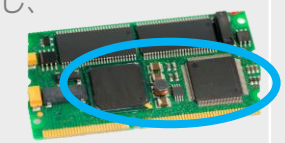

顧客（販売先）
自動車
当社
当社海外子会社
めっき加工専門会社
自動車部品メーカー（ティア1、ティア2）
自動車メーカー
スマートフォン
当社
当社海外子会社
めっき加工専門会社
基板メーカー（日本、中国、台湾、韓国・・・）
半導体メーカー
スマートフォンメーカー

主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品（フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等） 水栓金具　（給水機器、シャワーヘッド、排水栓等） 建築部品　（ボルト、ナット等）
	電子分野向け (電子薬品)	プリント基板（両面板、多層板、ビルドアップ基板、パッケージ基板等） 電子部品　（リードフレーム、チップ部品、コネクター等） 半導体　（シリコンウエハー）

装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
	プラズマ装置	プリント基板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置（太陽光パネル）の設置・施工

薬品用途説明 最終製品例

用語説明		最終製品
基幹薬品	装飾・防錆分野向け、金属外観の付与、サビ防止などの機能性付与のための表面処理(めっき)薬品。	自動車部品、水栓金具、建築部品
POP薬品 (Plating on Plastics)	基幹薬品の主力製品 プラスチック上へ金属膜をめっきするための薬品 	(自動車部品) フロントグリル、エンブレム など (水栓金具) シャワーヘッド、水栓コック など
その他基幹薬品	銅・鉄鋼などの金属素材へ金属膜をめっきするための薬品	(建築部品) ネジ、蝶番 など
電子薬品	電子信号を流すための回路、電子部品の電気接点などプリント配線板を製造するためのめっき薬品	5G関連部品、データセンター等のインフラ、高機能電子デバイス
ビアフィル薬品 (プリント基板/マザーボード向け)	電子製品に内蔵されるプリント基板/マザーボードに配線を形成するための銅めっき薬品 	(5G関連部品) 5G基地局、車載基板、スマート家電 など (データセンター等のインフラ) 通信サーバー向けマザーボード など (高機能電子デバイス) スマートフォン、PC、タブレット、ゲーム機器 など
ビアフィル薬品 (半導体パッケージ(PKG)基板向け)	半導体チップを外部環境から保護し、プリント基板に実装するための基板(半導体PKG基板)に、配線を形成するための銅めっき薬品 	
その他電子薬品	マザーボード、または半導体PKG基板に配線を形成する際、不要な銅を削るためのエッチング薬品 コネクタ、リードフレーム用のめっき薬品など	

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

当社ホームページ:
https://www.jcu-i.com/

お問い合わせ先：経営戦略室
Email： ir2@jcu-i.com
TEL： 03-6895-7004